(マタイ六の三十三)

2017年4月30日 主日礼拝

司 会 ①清水兄 ②島田兄 ③野田兄

奏楽

祈祷 ①梅津兄 ②久保田兄

賛 美 聖歌498番「歌いつつ歩まん」

(主はすばらしい・God is so good・アーメン)(イエスは主)

3つの愛

聖 書 ① ペテロの第一の手紙5章5~7節(P371)

②③マタイによる福音書6章25節~34節 (P9)

音 楽 ① 倉知契師

②③ 宮田四郎兄(伴奏:佐久間美江姉)

証 詞 (1)② 仲宗根ダニエル兄(モーセ会)

メッセージ ① 「御手の前にへりくだる」 久保田豊伝道師

②③「明日を守られるイエス様」 坪井永城副牧師

賛 美 「明日はどんな日か」(献金)

頌 栄 「主の祈り」アーメン

祝祷

大川従道牧師

【大和ニュース】

☆三畑元長老は、今日まで日曜学校の教師を56年間なさいました。P. T. L!!

- ・本日、セキュリティ奉仕会、責任役員会(新)、男性言徒ノーダー会、J. PLUS(ヤンチャSP)。
- * 大川牧師は5日夜、大阪において全国大会講師として説教されます。 乞!祈祷!
- ☆今週の祈祷会は、「泉チャペル献堂17年記念聖会」となります。
 - ①水曜夜は、中国から新川宣教師、②木曜朝はインドネシアからプラノト師夫妻。 努めてご出席ください。③金曜夜は丸藤伝道師。 *祈りは力です!
- * 来週の第3礼拝の説教者は、前田先生と大川牧師。特賛は前田サラとF.B. 午後2時~森チャペルにてJ. PLUS賛美集会。(サラ and ファミリーバンド)



私には「命の恩人」のような方が多勢いる。ほとんどは天に召された方々であるが、そのひとりに「浅野順一先生」がおられる。牧師であり、旧約聖書の大学者であられた。私の青年時代、青山学院大学神学部で、非常にお世話になった。当時、牧師とアルバイトと学生の三足のわらじをはいての超多忙生活。 浅野先生の励ましがなければ、今日の私は存在しない。

80歳6ヶ月で召されたが、終戦後、千葉のご自宅を売って渋谷に「美竹教会」 を建てられ、立派に教会形成をされた。その後、砧教会、新泉教会、牛久教会、 桜本教会、亀井野伝道所などを設立された。

先月発刊された『基督教論集』に、私の知らなかったことが多く記述されていて驚きをもって読ませていただいた。以下、少々引用する。

次男信嗣は元来病弱な子で自家中毒と肺炎で2日わずらって、わずか2歳で亡くなった。35歳の浅野はそのときの悲しみを次のように書いている。

「子をもって知る親の恩ということがあるが、子を失ってみると神の愛が分かるものである。子供の召天した日の通夜にヨハネ福音書第一章から精読してみた。そして3章16節『神はその独子を賜うほどに世を愛し給えり』の所に至り泣けて仕方がなかった。『神は愛である』、こんな平凡な真理でも、子を失うまでは、しみじみと感得できなかった鈍根の自分である。………」

「人生は苦しんでみるものだとつくづく思う。上すべりしやすい我々の生活に、より深いものを見せてやろうとて、神は人の世に耐えがたき悲劇を送り給うのであろう。」

大川評: 「人生は苦しんでみるものだ・・・・・」等の文章は、頭の良い学者 だから言い得る言葉ではない。苦しんだ後、溶解炉から出て来た金だからこそ発 せられる悟らせられた言葉である。是非、聖書の片隅に記録してほしい。

前々回の礼拝で用いた言葉も同じレベルか。「不可能を予測して行動を起こさない者には、この恵みの奇跡は体験できない」「不可能は挑戦となり、また可能となる」Impossibilities become Challenges and Possibilities.(ケート宣教師)

宿 題 (祝 大) 今 週 もむさばるように聖 書 を読 みましょう! A コース:ルカ22章~24章 Bコース:サムエル記下23章~列王紀上13章